

◆お知らせします◆

せたな町立国保病院 改革プラン実施状況

せたな町では、平成20年12月に「せたな町立国保病院改革プラン」を策定し、町民の皆さんにより良い医療を提供できるようにさまざまな病院改革に取り組んでおります。

計画策定から2年が経過した平成22年度の国保病院改革プランの実施状況と、せたな町医療対策等審議会からの評価についてお知らせします。（内容は原文のまま掲載しています）

■経営の効率化についての評価

経営の効率化については、看護配置基準の見直しにより診療報酬が2,225万円増収したものの、今後も看護体制の維持を図ることが必要である。

ソーシャルワーカーの配置については、入院・外来患者、家族からの相談件数が493件あり、町内外の医療機関、特別養護老人ホーム等の受け入れがスムーズに行われるようにはなっているが、今後は人員配置を含め充実を図るべきである。

また、地域連携室の配置については、相談内容が個人情報に関することが主なものであることに配慮し、1階事務室から2階看護師長室に移設したことは評価できる。

常勤医師の確保については、内科医師2人を補充し、医師の負担軽減など診療全体の安定・信頼性の確保に努めているが、今後においても常勤医師の確保に一層努力されたい。

一般会計から病院事業会計への繰り出しについては、診療所分を含んで1億4,867万円が町単独で措置されているが、町立国保病院の過去3カ年の累積欠損金（平成22年度末）は1億2,868万円となっており前年度よりも減少したことは評価できるが、病院・診療所に対する繰り出し基準の充実が望まれる。経費の削減・抑制対策については、職員給与の削減など医業費用の見直しを行ってはいえるものの、一層の業務効率化を図るべきである。

委託診療では、整形外科及び循環器科など4科目の診療が行

われており、収益の増加のみならず患者の通院負担の軽減からも診療日数の増を含め、一層の充実を図るべきである。

訪問看護ステーション及びリハビリテーションの体制整備は図られたが、今後は多様な医療ニーズにきめ細かに対応する質の向上に努める必要がある。

■財務内容改善に係る数値についての評価

財務内容の改善に係る数値目標の平成21年度実績については、各項目にわたって前年度に比べて改善されており、特に經常収支比率については目標数値100%を上回る103.2%となっており、評価できるものである。病床利用率については、現行の交付税制度が許可病床数に基づいて交付される仕組みとなっており、今後は国の病床削減方針等の動向を見極めて判断するとした考え方は妥当であると考える。

職員給与費対医業収益比率については、新たに職員を採用したものの、人件費の自主削減等により減額となっているが、院外処方により医業収益も減収しているため比率は前年度を上回っており、今後は目標数値に達するよう努力されたい。

救急搬送患者については、時間外受入患者数が年間1,400人を超え、前年度に比べ460人増加しており、医師・看護師等スタッフの確保を含め一層の救急体制の確立を望むものである。なお、コンビニ受診を抑制するために町民への啓蒙を図るべきである。

■総合的な所見

せたな町立国保病院改革プランについては、改革の中間年であり、総体的には一定の成果を挙げていると評価するものであるが、次年度以降の目標数値に修正がある場合は見直しを検討されるところに、町民の医療ニーズ等を総合的に勘案し、今後、安定した医療サービスが提供できる体制を構築されることを望むものである。



■財務内容改善に係る数値目標と実績

項目	目標数値 (平成23年度末)	平成21実績	説 明
経常収支比率	100%以上	103.2%	(経常収益/経常費用) × 100 入院患者数の増加、入院基本料10:1の維持による入院収益の増収、救急告示病院及び病床数に対する繰入金の交付基準の見直しによる増収により目標値の100%を上回った。
病床利用率	70%以上	一般 50.5% 療養 46.3% 全体 48.8%	(年延入院患者数/年延病床数) × 100 病床利用率については、前年度より全体で3.7%アップしたが、病床利用率を70%以上にするには、一般45床(13床減)、療養37床(2床減)以下にする必要がある。病床数を15床減少すると、繰入金が22,815千円減額となるので、今後の国の病床削減方針等動向を見据えながら対応する。
医業収支比率	80%以上	79.6%	(医業収入/医業費用) × 100 入院患者数の増加、入院基本料10:1の維持による入院収益の増収、救急告示病院及び病床数に対する繰入金の交付基準の見直しによる増収により、医業収入が増収した。

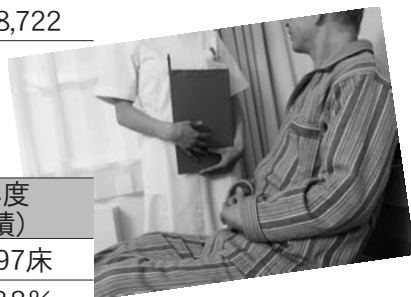
■一般会計等からの繰入金の推移

単位：千円

	平成19年度 (決算)	平成20年度 (決算)	平成21年度 (決算)
繰入金(交付税含む)	199,178	198,480	272,440
上記のうち一般財源分	40,559	41,612	58,722

■病床数・患者数等の推移(歯科を除く)

	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)
病床数	99床	99床	97床
病床利用率	44.9%	45.2%	48.8%
入院患者数	16,274人	16,233人	17,294人
外来患者数	27,339人	27,894人	27,892人
1日平均入院患者数	44.5人	44.5人	47.4人
1日平均外来患者数	112.0人	114.3人	115.3人
経常収支比率	95.4%	95.4%	103.2%



■平成21年度の時間外救急患者数

時間外患者数	うち休日	救急車で搬入患者数	地区別			
			北檜山区	瀬棚区	大成区	町 外
1,473 人	(71.0%) 1,046人	165人	(46.7%) 77人	(35.1%) 58人	(17.0%) 28人	(1.2%) 2人

※平成21年度の救急車出動件数 440件(3区合計)

※救急告示病院として、365日24時間受入れ体制を今後も維持します。